

国際セミナー プログラム

創立40周年「障害がある人々が健康を維持するための取組み」

－ 医療・スポーツ・レクリエーションを通じた疾病予防と健康増進 －

日時：令和2年2月16日（日）13:30～17:10

場所：東京国際フォーラム ホールD7

(12:30～ 開場・受付)

(総合司会：関口 彰 国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部長)

13:30～13:35 開会挨拶 飛松 好子 国立障害者リハビリテーションセンター総長

13:35～14:05 基調講演

“障害がある人々の健康増進”

飛松 好子

国立障害者リハビリテーションセンター総長

14:05～16:05 発表

1 “障害を含めた医療サービスと健康増進の取組み”

Cathy Vaughan

メルボルン大学グローバルヘルス・人口学部 講師

2 “脊髄損傷者の運動・スポーツ”

Bum-Suk Lee

韓国国立リハビリテーションセンター長

(14:50～15:00 休憩)

3 “子どもの脊髄損傷の疫学的特徴並びに予防とマネジメント”

周 紅俊

中国リハビリテーション研究センター 脊髄損傷リハビリテーション部長

4 “横浜におけるリハビリテーション・スポーツの実際と地域環境整備”

宮地 秀行

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール スポーツ課長

5 “日常生活に運動を取り入れることは疾病予防と健康づくりを推進する

－健康づくりプログラムの開発と実践について－”

樋口 幸治

国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部 運動療法士長

(16:05～16:15 休憩)

16:15～17:05 ディスカッション、質疑応答

(進行役：緒方 徹 国立障害者リハビリテーションセンター

障害者健康増進・運動医科学支援センター長)

17:05～17:10 閉会挨拶 森 浩一 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局長